

## 平成18年度 第1回平田地域協議会 会議記録（抜粋）

○日 時 平成18年6月27日（火）午後1時30分～5時00分

○場 所 平田総合支所 大会議室

○出席委員 13名

1号委員 石黒一喜、齋藤孝雄、丸山賢治、石川敏行、高橋絹子、菅原律子

2号委員 佐藤富雄、佐藤きく子、太田美佐子、小林隆逸

3号委員 佐藤達也、富樫文雄、佐藤良二

○欠席委員 1号委員 阿部時男、石黒 均

○職 員 平田総合支所長：佐藤富雄、地域振興課長：齋藤啓一、市民福祉課長：石黒吉春、健康福祉主幹：久松勝郎、建設課長：鈴木良寿、産業課長：尾形 力、平田教育振興室長：齋藤善和、地域振興課課長補佐：石川忠春、地域振興課地域振興主査：佐藤良広、地域振興課地域振興係長：後藤学、地域振興課地域振興係：綱淵千佳子

○傍 聴 者 2名

< 協議会次第 >

●委嘱状交付

●市民憲章唱和

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 平田総合支所長あいさつ

4. 会議録署名委員の選出

5. 協議

(1) 平成18年度の地域づくり予算と主要事業について

(2) 地域づくり懇談会（市長、支所）における地域からの要望事項等について

(3) 中山間地拠点（仁助新田地区）整備構想（報告）について

(4) 酒田市総合計画の策定について

(5) その他

①障害者交流施設整備事業計画に係る調査検討結果について（市民福祉課）

②平田診療所について（市民福祉課）

6. コミュニティ振興組織について

7. 投票区の見直しについて

8. 閉 会

●開会に先立ち、交代された齋藤委員に佐藤支所長より委嘱状を交付、欠席委員の紹介、日程説明の後、全員で市民憲章（5月20日に制定）を唱和し、開会する。

1. 開 会 … （進行を務める齋藤地域振興課長が開会する。）

2. 会長あいさつ （小林隆逸会長）

多忙な中ご出席をいただき感謝申し上げます。当協議会が設置されてから4回目の会議となる。これまで3回は実質的な協議と言うよりも総論的な議論を行なって来たが、平成18年度になりいよいよ本質的な協議が求められている。新市としての取組みも動き出している。そのひとつは行財政改革プランの議論、そして、総合計画の策定の審議に入ったことである。地域協議会にとっても重要な問題として捕らえていきたい。

総合計画は1市3町がひとつになっての計画であり、事務方の整理なども簡単ではないものと推察している。7月3日には審議会もある。旧平田町では第4次計画まで策定し、皆さんも携わってきた経過があるが、酒田市の計画策定が今後どうなっていくのか現段階では分かりづらい。今後10年の平田地域の課題なども当協議会と密接な関係にあり、今年度は少ない時間の中でそうした方向付けがなされていく年度でもあり、皆さんにもよろしくお願ひしたい。

3. 平田総合支所長あいさつ（佐藤平田総合支所長）

交代された齋藤委員には、残任期間ではあるが大所高所からご指導を願ひたい。

合併し8か月が経過し、新市としての総合計画づくりも動き出した。またこの4月には、新市となって国保や介護保険料が値上げされたが、皆さんのおかげで大きな不安の声もなく安堵している。職員も4月の大規模な異動により全体でさらに12名減となり現在82名である。合併前の104名から22名の減となった。しかし福祉現場、保育所職員などに変化はなく、本所に事務が移ったことによる減など、地域の方々に迷惑をかけることは無いようにしたい。

市長の地域づくり懇談会を今年度のトップを切って4月26日と5月22日に3会場で行なった。182名の参加があり、なごやかな中で市長の講話、地域要望事項への回答、意見交換が行なわれた。また支所としてもこれまで通り10公民館を5月29日～6月2日に訪問し懇談会を行なった。市長の懇談会の後であり参加状況などが心配されたが、例年通りの参加をいただき地域の課題等について意見交換ができた。これらの意見は、これからの平田地域の振興はもちろん、新市総合計画に反映する課題等の参考としていきたい。

また、コミュニティ振興組織化は当平田地域の最大の課題である。現在、資料収集などを進めているところで、委員のご意見をお願ひしたい。

本日は議題が多く時間も少ないが忌憚のないご意見をお願ひしたい。

4. 会議録署名委員の選出 … （6番 石川敏行委員を選出）

## 5. 協議

- (1) 平成 18 年度の地域づくり予算と主要事業について
- (2) 地域づくり懇談会（市長、支所）における地域からの要望事項等について  
（地域振興課長及び担当課長・主幹が主要事業と主な課題等について説明。）

### < (1) (2) 主な意見 >

- 委員 支所主催の地域づくり懇談会は意見交換の時間が短いように感じられた。今後の持ち方について考え方を伺いたい。
- 地域振興課長 説明の後の意見交換が短いようであった。午後 7 時開会でなくもう少し早めるなど検討したい。
- 委員 六ヶ村排水路整備については、市長の地域づくり懇談会で市長、部長も理解したと感じた。将来都市計画税を導入して行なうという話題もあると聞くと、JR 下の切り下げは至急対応していただきたい。支所としても強力で推進をお願いしたい。
- 支所長 市役所の事務方との理解については、認識に違いがあったことは事実である。支所としても企画調整部長、建設部長にも十分説明し理解を得る努力をしている。調整池を設ける検討、4 億と試算している財源確保のほか、早急に対応すべき点などについて検討組織が整いつつある。
- 委員 農水、建設の部局の認識に違いがあるのではないか。旧平田町として真剣に検討してきた調査を生かしていただきたい。
- 会長 旧平田町として合併時に新市に引き継いだ重要な問題であり、地元としては非常に危機感を持っている事業である。全体の整備計画がまとまるまで、危険箇所（JR 下）への対応を待つのか、並行して行なうのか、どういう進め方になっていくのか。
- 地域振興課長 合併協定の建設計画でも六ヶ村排水路整備は位置づけており、今後とも精一杯実現に努力していく。
- 委員 泉興野地内の交通ルールが悪くなっている。もっと徹底した指導が必要である。
- 地域振興課長 最近、慣れが出てきているのだと思う。地元からも強く要望があり安協等にも話していきたい。一人ひとりのマナーとともに飛鳥バイパスの一日も早い開通も重要である。
- 委員 支所としての地域づくり懇談会は有意義であったし、意見等をまとめて頂いて良かった。この結果は、地域の皆さんにもお知らせするのか。できるだけ、支所からの情報を地域に伝えて頂きたい。
- 地域振興課長 区長、公民館長・主事にはまとめを送る予定をしている。一部、既に直接本人に回答したものもある。また、支所としては市役所や関連する機関などにも伝えていく。
- 委員 支所懇談会のアンケート集約にもあったように、参加者が集まりにくい状況も感じた。来年度からは、もっと知恵を出し合って楽しく参加ができる懇談会となるように、我々も協力したい。
- 地域振興課長 支所としては、合併後も引き続き地域との連携が重要であるということで継続した。ご意見を参考にし来年度に向けていきたい。

○委員 財政が厳しさを増す中で費用対効果（B/C）や優先順位を付けるのは原則であり、当然と思う。しかし、優先順位をどうやって決めるのか。原則を尊重するだけでは人数が多い方に効果が上がるのは当然であり、そのように考えて行けば人口の少ない山間部が益々厳しくなることを心配している。執行部には十分考えてほしい。

その中で、小林温泉の運営については地区が指定管理者となっているが、役員体制などが大変になってきている。同じ市、同じ地域の施設としてアイアイひらたや眺海の森などの運営の統合などは考えられないか。また、利用者も少ないが山元農村公園のトイレを水洗化にすることはできないのか。

○支所長 県の場合、5千万円以上の事業は事業評価の対象となり、厳しい見直し等の対象となるため、山元地内の県道整備はそれらも考慮し地元配慮したと聞いている。

小林温泉の経営については、観光施設としてのあり方が旧平田町議会でも議論されたが、地元主導の方が良いということで今のやり方となっている。農村公園のトイレの水洗化については支所としても努力していく。

### （3）中山間地拠点（仁助新田地区）整備構想（報告）について （地域振興課長及び地域振興主査が報告書の内容について説明。）

○委員 II-3 庁内議論の中で、宅地造成の予定はないとなっているが、宅地造成を進めるべきではないか。市営住宅の建設など成果が上がっているのではないか。

○地域振興主査 策定時点では既に市営住宅の整備が動き出していたが、宅地造成については用地の手だて等の具体的な計画は決まっていないため無しという表現になっている。

○会長 この山間地拠点整備の問題については、旧平田町の総合計画等でも20年前から議論されてきたことであるが、具体的な成果が上がってこなかった。新市の総合計画の策定が動き出す中で、支所として今後どのように進めようとしているのか。

○地域振興主査 この報告書は、地域の振興を図るため行政の施策のあり方や役割、そして地域住民の積極的な活動の必要性などについて提言されている。行政施策として盛り込むべき事業については担当部局でさらに検討され、また地域活動の支援のあり方なども検討していく。

○地域振興課長 旧平田町の過疎計画を引き継ぐ形で、酒田市としての過疎計画がある。今後策定される酒田市総合計画の中でも、中山間地域の振興について検討していく必要があると考えている。

○委員 地域振興に公営住宅の整備は有効だが、入居が心配される。仁助新田以東には旧平田町住民の4割近くが居住しているし、旧酒田市等からの道路事情も良くなり、他の地域からの入居も容易になっているため、公営住宅の整備は地域振興のためにも大変有効だと思う。また、この地域に宅地造成を考えるなら、最近の住宅事情や後継者の状況、需要等を十分調査し実施する必要がある。

○建設課長 今回完成した3戸の当市営住宅に9人（3倍）の申込みがあった。酒田への通勤に不便は無いと聞いている。今後の整備計画は未定で、ニーズ等を調査しながら検討していく。

(4) 酒田市総合計画の策定について

(地域振興課長が酒田市総合計画策定スケジュール等を説明。)

○委員 審議会の委員25名中、女性がたった4名のようなのだが、男女共同参画を謳っている時代の中で少ないのではないか。何か特別な事情があったのか。

○支所長 選出には直接関係していないので詳しい事情を承知していません。おっしゃることも理解できる。

(5) その他

①障害者交流施設整備事業計画に係る調査検討結果について (市民福祉課)

(健康福祉主幹が行政による整備はしない旨の方針となった検討結果を説明。委員から特に意見は無し。)

②平田診療所について (市民福祉課)

(健康福祉主幹が診療所の患者数の推移等について説明。)

○委員 平田診療所は、合併後2～3年で見直されるのではないかと心配していた。現在、どのような考えになっているのか。

○健康福祉主幹 健康課の中で各診療所については利用動向等を見極め検討している。平田診療所の場合、県からの派遣医が厳しくなっている。特に庄内(八幡、松山、平田)への派遣医の対応が厳しい見通しにある。

○会長 行財政改革集中プランの中でも議論になるであろう。落ち込んでいる利用者をどうするかが問題である。

○健康福祉主幹 先生は、診察が丁寧であり掛け付け医としても利用頂きたい。これまでの診療所利用者が高齢、入院等の事情で他の医療機関へ移った方も相当数おり、新患者数が減少していることなども利用者減の要因である。

③その他

○地域振興課長 協議のその他として、会議録を公開しているが、発言者の委員の名前を公開した方が良いかどうかお諮りしたい。各支所の担当課長会議で各協議会の意向を持ち寄ることとしている。

○会長 会議は公開で行なうこととなっており、市長の考えもあるようだし、あえて強く拒否する意見は無いと思うが、委員のご意見を願いたい。

○委員 集落営農の取りまとめや検討などで、個人情報であるため資料の公開はできないと言うことがあった。我々委員の個人名を公開することで不都合なことでもあるのか。

○地域振興課長 委員が特定の個人の状況等を発言し、そのまま公開した場合は、個人情報の問題があることは考えられる。

○委員 3協議会の足並みを揃えることで良い。それにしても我々の発言する時間が少ない。

協議日程は守っていただきたい。ところで、市長の地域づくり懇談会に提出した要望事項はどのように作られたのかという意見があった。時間が無かったこともあるだろうが、当地域協議会でまとめる必要もあったのではないか。また、委員が旧平田の住民の意向もふまえて当日発言するという方法もあったのではないか。

○地域振興課長 第1回目の協議会の開催を延期したため、委員との十分な協議がないままに市長の地域づくり懇談会の開催を迎えたことは反省したい。8月30日に総合計画についての意見交換会が予定されているので、その前に当協議会を開催しあらかじめ意見交換を行ないたい。

○会 長 3支所足並みを揃えることで特に問題ないと思うが、いかがか。

○委 員 発言者の氏名を公開してほしいという議論は、当協議会についての市民の見方そのものが問われているものだ。私は積極的に公開するべきと考える。

○会 長 私も原則公開で足並みが揃うと認識しているもので、その意見に異議はない。担当課長にこの意向をふまえて協議して頂くことでどうか。(一同異議なし)

それより、今後の当協議会の進め方など心配されている意見をいただいたが、今日の会合では、市長地域づくり懇談会、支所地域づくり懇談会で出された平田地域住民の生の意見がどのようなものかを把握することに時間をかけた。この点は理解いただき、次回、盆前にでも開催しじっくりと意見交換をしたいので事務局に調整していただきたい。

#### 7. 投票区の見直しについて

(時間の関係で次第を変更し先に選挙管理委員会の説明を受ける。質疑省略。)

#### 6. コミュニティ振興組織について

(時間の関係で資料配付のみとし、意見交換等は次回行なうこととした。)

○会 長 コミュニティ組織化という改革は、当協議会だけで到底進められるものではない。現在10の公民館合わせて100名~200名の皆さんが、公民館制度を支え作り上げている。当協議会と並行してそれらの皆さんへの手だてもお願いしたい。

#### 8. 閉 会 … (進行を務める齋藤地域振興課長が閉会する。)

会議録署名委員